

	進取の気概 (校長室だより)	有田市立箕島中学校 自主 友愛 剛健	R3・11・5
			No. 42

地震は減らせない。でも被害は減らせます。

「ミドリ安全」新聞広告 2010年 コピーライター：高橋修身

11月5日は「世界津波の日」です。嘉永7年11月5日(1854年12月24日)、安政南海地震が発生し、津波が現在の広川町を襲った際、濱口梧陵が稲むらに火をつけ、津波から逃げ遅れた村人を高台へ避難させ、多くの命を救った「稲むらの火」の話にちなんだものです。

たった今、シェイクアウト訓練を行いました。訓練は、みなさん一人一人の大切な命を守るために行います。箕島中学校には、現在、292名の生徒がいます。もし、ある日地震や津波が起きて、291名の生徒が無事だったとしても、1名の命が失われたとしたら・・・。「1名は仕方ないか」とは決して言えません。292名全員の命が無事だったとき、初めて「全員が無事だった。本当に良かった」と言えるのです。だから訓練は、全員が真剣に取り組まなければなりません。

地震や津波などの災害はいつやってくるかわかりません。学校にいるときかもしれませんし、登下校中かもしれません。家にいるときかもしれませんし、寝ているときかもしれません。また、いざ本当に地震がやってくると、怖くて動けなくなってしまうかもしれません。だから、どんなに訓練しても訓練どおりにはいかない、このことをいつも頭において訓練することが大切です。今日は地震が起こったときの訓練でしたが、地震の後には火災が起こるかもしれません。津波がくるおそれのあるときは、高台に避難することも必要です。今後、さまざまな状況を想定しての訓練も行いたいと思います。災害はいつ起こるかわかりません。自分で判断して行動できることを目指しましょう。



出典：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

安全行動 1 姿勢を低くする (DROP)

- ・地震の揺れに伴う転倒を防止、その場から動かされないようにするため。

安全行動 2 体や頭を守る (COVER)

- ・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難。
- ・机など隠れる場所がない場合は、手や腕、カバンや本など、身近なもので頭を守る。

安全行動 3 揺れが収まるまで動かない (HOLD ON)

- ・揺れている間に動くのは危険、揺れが収まるまで、1分くらいその場に留まり、動かない。